

分野	専門分野	科目名	症状を示す小児の看護
時間	15時間	開講時期	2年次（後期）
講師名	外部講師		
科目目標	1. 疾病・障害に対して子どもと家族が示す反応について、健康問題や発達段階による特徴を理解し、必要な看護を理解できる。 2. 小児における疾病の経過と看護について理解できる。 3. 小児看護のなかで外来看護の果たす役割と、小児の入院と小児・家族への影響について理解できる。 4. 小児期における、種々の症状に対する看護を理解できる。 5. 障害の概念、障害児と家族の特徴、社会的支援など、障害児看護の基本知識を理解できる。		
講義形態	①講義・演習		
講義内容			
疾病・障害をもつ小児と家族の看護 1. 疾病・障害が小児と家族に与える影響 2. 子どもの健康問題と看護 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 1. 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護 3. 在宅療養中の子どもと家族の看護 4. 災害時の子どもと家族の看護 子どもにおける疾病の経過と看護 1. 慢性期にある子どもと家族の看護 2. 急性期にある子どもと家族の看護 3. 周手術期の子どもと家族の看護 4. 終末期にある子どもと家族の看護 症状を示す小児の看護 ①不きげん ②啼泣 ③痛み ④呼吸困難 ⑤チアノーゼ ⑥ショック ⑦意識障害 ⑧痙攣 ⑨発熱 ⑩嘔吐 ⑪下痢 ⑫便秘 ⑬脱水 ⑭浮腫 ⑮出血 ⑯貧血 ⑰発疹 ⑱黄疸 障害のある子どもと家族の看護 1. 障害のとらえ方 2. 障害のある子どもと家族の特徴 3. 障害のある子どもと家族への社会的支援 子どもの虐待と看護			
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2]小児臨床看護各論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			